

広報 まつのやま

1994年(平成6年)

11月号

No.225 11月10日発行

発行／松之山町役場 〒942-14 新潟県東頸城郡松之山町松之山 編集／総務課 ☎ 02559-6-3131 FAX 02559-6-3515

職場の人たち①

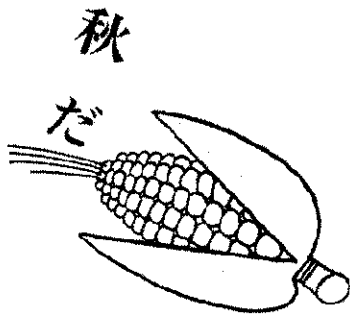


今月号のページ

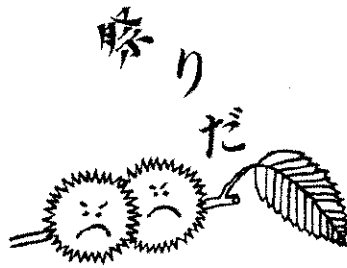
農業祭、芸能祭.....	2～3
見えてきたぞ、明日の松之山 町づくり検討委員合同研修会.....	4～5
松代・松之山フォーラム.....	6～7
わだい・フォト.....	8～9
愉快的仲間、ほくほく線の旅.....	10
松之山の民俗①.....	11
生涯学習だより(湯・米・心).....	12～13
お知らせ.....	14
東京事務所だより、文芸.....	15
ぼくの絵、わたしの絵.....	16

お年寄りに喜んでもらえる食事づくりを

「今日は施設の芸能祭があり、私たちも出演しました。」と特別養護老人ホームの厨房で働いている栄養士さんと調理員の皆さん。調理員は、朝6時から夕方6時半までで3～4交替制で働いているそうです。入居者の皆さんの好物は、煮物や卵料理など。失敗談として、煮物の中に入れる食品の種類が多いため材料を入れ忘れたハプニングも。「お年寄りから喜んでもらえることが一番嬉しいですね。」とは栄養士の鈴木さん。「私たちの職場は、家庭的で楽しいですよ。チームワークの良さでこれからも喜んでもらえる食事を作って行きたいです。」と米持主任さんは話していました。



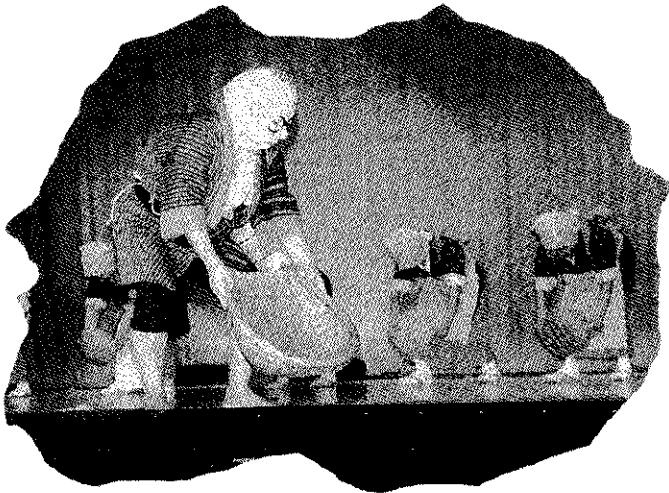
農業祭



芸能祭



美術展



ヨッノ千両役者



子供たちのかわいいエアロビクス

晴天に恵まれた十月三十日、秋の一大イベント農業祭・芸能祭が開催され、大勢の人出でにぎわいました。

午前九時から各種即売・各展示場が一斉にオープンし、どのコーナーにも長い行列ができていました。

センター前の広場では農機具の展示販売、ライオンズクラブの皆さんによるチャリティバザー、ジャンボカボチャの展示などが行われました。

センター二階の「わが家の味 自慢コーナー」には三十五点の出品があり、用意された試食品はアツと言う間になくなってしまいました。

二十九日から開催されている美術展にも多くの方が訪れ、絵画・書道・写真・俳句・生花などじっくり鑑賞していました。

芸能祭は町民体育館で行われ、町内の芸達者の皆さんが日頃の練習の成果を発表しました。

浦田小学校の創作劇「かつばのつめあと」は、浦田地区に伝わる伝説「竜の尻尾と河童の爪跡」を劇にしたもので、人間と河童のふれあいをおもしろおかしく、最後は涙をさそうほど上手に演じられました。

大人顔負けの演技力・表現力は相当な練習量を感じさせ、詰めかけた観客はおしめない拍手を子供たちに送っていました。

ポップコーンの皆さんと子供たちによるエアロビクスにはおひねりがたくさん上がり、曲が終わると子供たちは先を争って拾っていました。

知っておきたい 年金知識

あなたの
年金手帳は
何冊？

国民年金コーナー

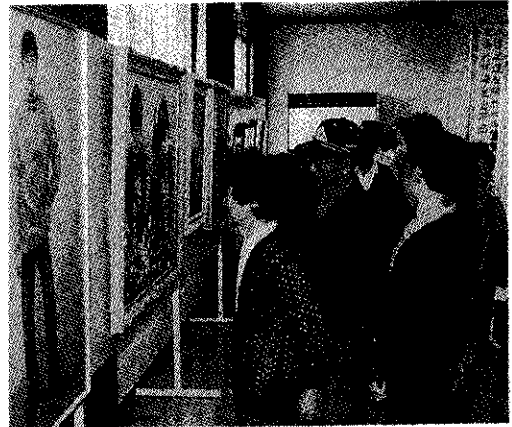
自分自身の「年金手帳」を、あなたは何冊お持ちですか？

二冊以上お持ちの方、手帳を開いて見てください。国民年金記号番号欄の記号番号が十桁とも同じですか？一か所でも違えばありませんか？

あなたが、記号番号の違う年金手帳を二冊以上持ち続けたまま、将来、老齢基礎年金を請求しても資格期間がバラバラのため、「期間不足」で年金が受けられなかったり、受けられるに



観客を魅了した浦田小学校の創作劇
「かっぱのつめあと」



力作ぞろいの美術展
子供たちの作品も多く展示してありました

農薬祭の会場に展示され、皆さんから目方を当ててもらったジャンボカボチャの重量は二個あわせて三三kgでした。
応募者はカボチャを持ち上げては首をひねり、最後はヤマ感で重量を記入していましたが、ほとんどの方は二〇kgから四〇kgの間と答えていました。
また、応募者の答えて最軽量は六kg、最重量は一〇〇kgというのもありました。
ピタリ賞・近いで賞の方々は粗品が贈られました。

▼ピタリ賞（三三kg）

◎金賞
樋口栄八（中尾） 51・4 kg

◎ジャンボ賞
小野塚実（藤倉） 70・6 kg

三四kg 福原敦志（天水越）
なお、ジャンボカボチャコンテストの結果は次のとおりです。

◎近いで賞
三二kg 高沢昌巳（湯本） 佐藤敏孝（天水越） 高橋佑介（天水島） 志賀春香（三桶）

石塚健太郎（田麦立）
貝沼音七（湯之島）
島田有（天水島）
福原高志（天水越）

◎銀賞
小見重義（黒倉） 49・8 kg
◎銅賞
石塚正明（湯之島） 46・6 kg
村山幸子（湯本） 45・6 kg
高橋清吉（天水島） 41・6 kg
（敬称略）



当たったかな？ジャンボカボチャ重量当てクイズ



2斗もあった樽酒は1時間ほどでからっぽになりました

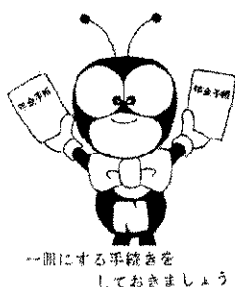


アンコールに答える浦田若妻会の勇壮な「はねこ」

しても、実際に保険料を納めた期間より短期間分の年金額しか受けられなくなる恐れがあります。

記号番号が二つ以上ある方は、一つに統合する手続きをする必要があります。年金手帳を持参のうえ町役場の国民年金担当窓口で早めに届け出てください。
あなたが住所を日本全国どこに変えてもあなたの国民年金の記号番号は、一生変わりません。つまり、「一年金一記号番号」なのです。

国民年金についてのお問い合わせは、住民課国民年金係へ
☎ 6-3131 内線54



一冊にする手続きをしておきましょう

見えてきたぞ！明日の松之山

新しい町づくりのための

総合計画審議委員 合同研修会 町づくり検討委員

十月十七日、自然休養村管理センターで町づくり検討委員会の事業の一環として、「町の将来を考える」研修会が開催されました。研修会には、検討委員のほか町総合計画審議委員や役場職員なども参加、委員会の中間報告や町づくりの講演会も行われました。また、参加者の意見交換会も行われ活発な意見が交わされました。



町では、平成八年度から向こう十カ年間の町の進むべき道を示す、新しい町総合計画を策定する作業を進めています。

今回の総合計画の策定では、広く町民からも「町の将来について考えてもらおう」と町内の若手で構成する「町づくり検討委員会」を開催し、意見の収集を行っています。各地域の検討委員会では、これからの新しい町づくりについて真剣に検討いただいております。今回の研修会では、その中間報告として地区代表者からそれぞれ意見を発表していただきました。発表いただいた内容は、次のページで紹介いたします。

研修会に先立ち、同会場では第一回町総合計画審議委員会が開催され、新しい委員さんを委

嘱しました。会議では、会長・副会長の選任とこれからの総合計画の策定の進め方について町当局から説明を受けました。

また、「町づくり検討委員会は今後も続けていくのか。」や「町民へのアンケート調査はいつ頃実施するのか。」などの質疑も行われました。

講演会では、地域開発コンサルタント中川涼一氏による「村づくり町づくりで大切なこと」と題した講演が行われ、徳島県上勝町の「葉っぱ類」を特産化した町活性化などの例を上げ、「町づくりは、自分たちの足もとに何があるのか、再発見する旅である。松之山町総合計画についても、町にあるものを総点検することが必要だ」と話されました。



第一回総合計画審議会の様子

総合計画審議委員

名簿

- 〔会長〕佐藤大治〔町議会〕
- 〔水越〕
- 〔副会長〕佐藤利幸〔しづみ農協〕
- 〔水越〕
- 〔委員〕
- 〔町議会〕村山里志〔赤倉〕
- 〔町教育委員会〕猪俣栄二〔松之山〕
- 〔町農業委員会〕高橋伸一〔大荒戸〕
- 〔識見者〕柳則子〔湯本〕
- 小見美晴〔黒倉〕
- 〔地区代表〕村山正英〔松之山〕
- 〔上川手〕相沢良三〔三省〕
- 〔水梨〕高橋定安〔松里〕
- 〔天水島〕高橋平八郎〔布川〕
- 〔中尾〕石塚幸貞〔浦田〕
- 湯之島
- 〔各種団体代表〕福原豊〔商工会〕
- 〔湯本〕保坂武雄〔老人会〕
- 〔松口〕丸山澄江〔婦人会〕
- 〔上之山〕村山一司〔青年団〕
- 〔北浦田〕村山健〔野鳥愛護会〕
- 湯本

「町づくり」に対するご意見などがありましたら、各委員または町振興課企画調整係へ

☎ 6-3131 内線31

行政と町民の連けいが大切！

町づくり検討委員会中間報告

若者に出会いの場を

〔松里地区〕

発表者 滝沢正秀さん

◎町営住宅を各地区に作ってほしい。新婚当初、親元を離れて暮らしたい人が実家の近くに住むところがあれば、部落から出なくてもいいし、道路が整備され通勤範囲が広がったことか

◎スキー場でも増えるかも知れない。Uターンも増えるかも知れない。

◎スキー場で知り合って結婚したケースもあるので、都会から女性のアルバイトを募集して女性との出会いの場を積極的に作っていったらいいと思う。また、女性だけのサービスマンを設けたらどうか。

◎大蔵寺高原には、遊べる場所がない。牧場の景観を壊さずにサイクリングコース、ゴーカート、乗馬などの施設を造ってもいい。



地域全体で町づくりを

〔三省地区〕

発表者 福原浩昭さん

◎湯本の温泉街は、袋小路で災害などが生じた場合の逃げ場所がない。温泉街の終点からトンネルを掘って周回コースにすれば心配がなくなるので、長い構想の中で考えてもらいたい。



◎まだ、具体的な提案にまでまとめることができていない。

◎その中で過疎の防止という観点から、若者の定着を考えていきたい。

◎大雪対策の推進をまだまだ進めていきたい。

◎三人のメンバーだけでなく、地域全体で今後の町づくりを考えていきたい。地区住民を対象にしたアンケート調査を実施して、それをもとに検討を重ねていきたい。

◎三人のメンバーだけでなく、地域全体で今後の町づくりを考えていきたい。地区住民を対象にしたアンケート調査を実施して、それをもとに検討を重ねていきたい。

広域的な町づくりを

〔布川地区〕

発表者 小野塚良雄さん

◎地域の現状と分析と問題点の整理から始めた。



◎今後の町づくりでは、次の五つの柱が大切なのではないかと

①定住基盤づくり

②生活環境づくり

③ふるさとづくり

④人づくり

⑤産業づくり

この五つのテーマについて、今後具体的な話しを進めていく予定である。

◎この十カ年を考えていく場合、松之山町だけでなく他市町村と連携した（広域的な）町づくりが大切なのではないかと。

◎若者の定住対策を

〔松之山地区〕

発表者 樋口 悟さん

◎現在、町が抱えている問題点を整理することから始めた。

その一 若者の定住対策

①職場の確保―現在ある職場

のリニューアル、新しい職場の創造。

◎生活環境の整備―他人に干渉し過ぎる地域性の改善や町営住宅の地区への建設など。

女性が安心して子供を産める環境づくり。

その二 産業の活性化

①抜本的な農業対策―松之山の米をどう売る。



◎観光産業の改革―他とは違うものを作り出す必要がある。

その三 生活環境の整備

①上下水道の整備促進

②雪対策の継続化

今後さらに検討を重ね、具体的な提案ができるようになるまでやっていきたい。

健康対策と生涯教育を

〔浦田地区〕

発表者 南雲敏雄さん

◎今後の町づくりの基本理念は、町民の健康対策と生涯教育の推進ではないだろうか。

◎生活すること大切なのは保健環境の整備であり、ヘルパ

ーや保健婦活動の充実が必要である。そのためには保健センターの建設が急がれる。

◎また、人が生きること大切

なことは、文化つまり精神活動の充実ではないだろうか。こうした町民の文化的レベルを高めるためにも文化会館の建設は欠かせない。

◎町民も今まではとくに目に見える物をほしがってきたが、これからは意識改革をして自らの文化度を高める必要がある。

◎今後、行政を進めていくためには、役場と町民が連携して行かなければならない。そのため

に役場職員の部落担当制を実施し、各集落の問題点や課題について検討することを提案したい。



◎また、広報に毎回二、三人づつの職員から自分の考えていることや仕事のことなどについて書いてもらい、職員と町民との接点を多くつくることも提案したい。

ことばの違いをのりこえて新しい文化を……

松代・松之山フォーラム

十月二十三日、松代町総合センターにおいて上越保健所主催による「松代・松之山フォーラム」が開催されました。

今回のフォーラムは、「出産・育児アメニティ整備事業」の最後の事業として行われたものです。この事業は、外国からの花嫁が出産などするうえで言葉や生活習慣のちがいがいろいろある問題が起こることが予想され



ており、事前に問題を把握し、対応について連携できるネットワークを作り、花嫁が安心して妊娠、出産などできる環境を整備していくというものです。

フォーラムは、まず「言葉や習慣の違いをのりこえて学んだこと」と題し、パネルディスカッションが行われました。パネラーには、外国からの花嫁の立場から当町東山の渡辺淑子さんなど四名、夫の立場、住民の立場、教師の立場からそれぞれ一名が参加しました。

花嫁の立場からは、言葉の違いなどによる苦労話や、これらのことものの教育や将来について発表があり、夫、住民、教師の立場からも日頃感じていることについて発表がありました。

話題提起として講演された安塚町矢野町長さんは、「一人一人が自信を持つこと、そして情報を発信し、開かれた自分をつくり・地域をつくるのが新しい文化をつくることになる」と話されました。

外国からの

花嫁の立場から

東山 渡辺淑子

初めて彼と出会った時、彼は主人のことですが、言葉が通じないのがたいへんでした。でも、いっしょに食事をして、デートしているうちに彼の目がとてもすてきに感じられました。もう一度会う約束をしました。何らかの縁でしょうか。私も日本語を習ってみようと思いました。

語教室に通うことになりました。二度目のデートは、二冊の重い辞典をもつて言葉を探しながらの楽しい時間を過ごしました。しぜんに交際し、電話や手紙のやりとり、十カ月後に私は日本を訪問し、雪国の松之山に一週間も生活しました。

家族の人たちが、とても良い人で気に入りました。朝、除雪が終わった彼は、私を十日町雪まつりに連れていってくれました。積もった雪を見るのははじめてで、雪の壁がとても美しく輝いていました。

彼のお父さん、お母さんが正座して、若い私にきちんと丁寧にあいさつしてくださるのに、

びっくりしました。そして、いろいろなとてもあたたかいもてなしを受けました。新幹線の見送りの時、お母さんとの握手や目に涙を浮かべているみんなを見て心が伝わりました。まだ、いろいろなこともありましたが、彼やみんなのひとがらの良さが気に入って結婚を決めました。

新婚の頃は言葉が通じなくて、重い辞典を家中もつて歩き回ったり、すぐメモをしたり、何か言いたいと一つ一つ言葉を探して、とても疲れる日常生活の会話を助けてくれて、早く会話ができるようにがんばってくれました。

つぎに私の勤め先のことですが、誰が見ても見なくても、自分の仕事を責任もつてやっていたことが、とてもいいなと思いました。

仕事に慣れなかった私は、何回もやめようと思いましたが、



いつも本当の姉のように明るい雰囲気、やさしく支えてくださる工場の先輩たちのお蔭で、いまでも続けて働いています。

結婚して四、五ヵ月たった頃、どうしても言葉がスムーズに通じなくて、神経がとがったり何もかもが悪く見えたりしました。夫のいろいろな欠点も見えてきました。彼のことをつまらない、男性と思いこんだりしましたが、すぐに反省しました。彼をつまらなくないと思えば、私の人生もつを余らせることこそ人生だと思

って考え直すことにしました。日本に来て感じた良いところは、たくさんあります。だから里帰りをした時、自分も知らないうちに、この自慢ばかりしていました。姉が、「あなたは結婚する前は口数も少なかったのに、今は生き生きとして日本の生活にとっても向いているよね」と言ってくれました。

私が結婚する時、母は「昔からよその家に嫁に出す前には、きちんとした礼儀や躾をして送るべきなのに、お前には何にも教えてやれなかった。その上に、言葉や習慣が違うよその国へ送るのは心配でたまらない」と言



芸術の秋

210点の力作

第13回 郡美術展覧会

十月十四日から十六日までの三日間、町民体育館で東頸城郡美術展覧会が開催されました。今回で第十三回目を迎えたこの展覧会には、郡内各町村から絵画や彫塑工芸など二一〇点もの作品が出品、展示されました。また、町公民館主催の「書道特別展」も同時に開催され、無審査作品と賛助出品作品も合わせて展示されました。会場を訪れた家族づれは、芸術の秋にふさわしい展覧会の力作を心行くまで鑑賞していました。

十月十一日には公開審査会が行われ、各部門ごとに郡展覧など二十点を選出しました。

審査員からは、「生活の中から必然的に生まれて来た気取りの無さが、どの作品にも見られ好感を持ちました。(絵画)」や「充実した作品が多く、強い熱気を感じました。……伯仲しているため賞候補を決めるのに苦労しました。(書道)」などの意見があり、郡

いました。私は「大丈夫、何とかなるよ」と答えましたが、大丈夫どころか母の言うとおりの親がよく身についてないせいか、親を大事にして素直な嫁になれなくて困っています。

この地域で、私たちのように外国からの花嫁がたくさん増えてきました。皆様は私たちのどんなイメージをもっていますか？言葉や生活習慣が違う私たちを不思議に思っているいませんか。たとえ日本人同士でも、北海道や沖縄の人たちと結婚すれば方言や生活習慣が、顔の形も違うでしょう。

でも同じ国の人だから、あまり特別な意識は持たないでしょう。

内の芸術のレベルの高さを伺わせる講評がありました。

最終日の十六日には、自然体養村センターで表彰式が行われ受賞者一人一人に表彰状と記念品が手渡されました。

入賞者(松之山町関係)

【絵画部門】奨励賞Ⅰ(三月)

山口清治(湯之島) 審査員特別賞Ⅰ(「ねこのチビ」)大見朝子(松之山)

【彫塑工芸部門】郡展覧Ⅰ(壁掛式デザイン・イス・机)高野

清一郎(松里小教員) 奨励賞Ⅰ(「旅の思い出」)広瀬利勝(松之山中教員)



【書道部門】郡展覧Ⅰ(送翰林張司馬、南海勅卑)山岸市松(新山) 奨励賞Ⅰ(「陳祐詩」)田辺真理(松口) 臨

集字聖教序(王羲之)大見真理子(下郷池) 敬称略

う。私たちの故郷は、この地域から近いところにあります。外国人とか国籍にこだわらないでほしいと思います。近い国の人となりの人くらいに思ってください。縁があつてこの土地に来て住んでいます。気軽に同じ仲間と思って、教えたりつきあったりしてください。

私は、子育てはまだ一年たらずの母で、将来子どもたちが母親が外国人ということ、悩んだり傷ついたりしないか、とても心配しています。そして子どもに、外国人であっても自分の母親を誇りに思うよう教えないければならないと思います。そのためには、私たちが良いことを

たくさん習っていくことが大事でしょう。この子どもたちが、まっすぐに育っていくには、私たちだけの力では無理でありま

す。地域の皆様の心からの理解が必要だと思います。幸せを求めて日本に来たのだから、生活の中での良いことを身につけよう。どんなに小さな良いことでも大きく感じるように、心がけたいと思います。これからも家族や自分の健康を守り、子どもがすくすくと育つていくよう祈りながら、がんばっていきたいと思います。

これで私の発表を終わります。

わだい・フォト

皆さんからの話題、情報お待ちしております
☎ 6-3131 内線23

採ったぞ食へたぞ

秋の味覚

大蔵寺高原キノコ狩り大会



秋晴れの10月2日・10日の2日間、大蔵寺高原で「キノコ狩り大会」が行われました。今年はキノコの豊作の年。参加者は、受付を済ますと早速に山の中に入って行きました。まもなく、大きな袋いっぱいキノコを抱えて戻ってくると、講師から鑑定を受けましたが、食用できるキノコが少ないと聞くとちよつとガッカリした様子でした。しかし、なかにはコウタケやチョレーマイタケという珍しい貴重なキノコを採った方もいて大喜びでした。

鑑定会の後、参加者全員で新米コシヒカリのおにぎりとキノコ汁の昼食を食べ、松之山の秋の味覚を堪能していました。

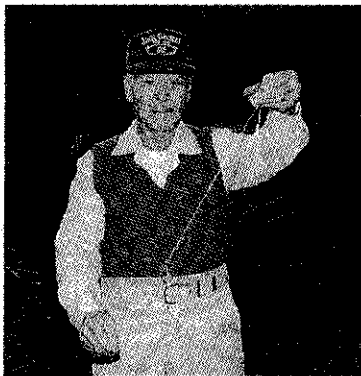


さわやかな汗と笑顔

第17回健康マラソン

10月10日、体育の日。第17回健康マラソンが約400名の参加で行われました。

マラソンは各階層ごとにスタートが切られました。幼児組ではスタートと同時に元気よく飛び出した子どもたちに、一緒に参加したお父さんやお母さんも懸命に力走していました。また、沿道にはたくさんの方が応援に駆けつけ声援を送っていました。体育の日の一日、参加者はさわやかな汗を流していました。



福岡県から風船が飛来

海こえ山こえ“火の用心”の旅

10月23日朝、天水島の小野塚峰雄さんの宅の玄関先の庭に「福岡県消防協会・火の用心」という文字の入った風船が落ちていたのが発見されました。この風船は、福岡県消防協会が火災予防事業の一つとして上げたもので、はるばる当町まで「火の用心」にやってくるものです。秋の火災予防運動中です。「火の用心」に心がけましょう。

楽しく元気に歩いたネ!

松里地区健康ウォーク



10月10日、松里地区体育協会主催の「松里健康ウォーク」が行われました。

当日は、幼児からお年寄りまでの約80名が参加しました。温泉スキー場駐車場で受付した後、マイクロバスで留山ダムまで直行。ダムでは、体育協会役員と地域婦人会の皆さんが作ってくれた「どん汁」で楽しい昼食会が行われました。

健康ウォークは、かんばい作業道の紅葉をながめたり、ゲームを楽しんだりして温泉スキー場駐車場までの約6キロのコースを元気に歩きました。参加者からは、「こんなに眺めのいい場所とは知らなかった。来年もまた参加したい。」との声が聞かれました。

郷里松之山で

紅葉と交流を満喫

東京松之山会訪問ツアー

10月22日・23日、東京松之山会の「郷里訪問紅葉ツアー」が行われ47名の皆さんが当町を訪れました。今回のツアーは、東京松之山会の三周年記念事業の最後を飾る事業として実施されたもので、22日の午前には真川小学校を訪問し、児童の皆さんとの交流会が持たれました。交流会では児童の皆さんとの昼食会や音楽の発表などが行われました。

夕方6時からは宿泊先で、地元の方々と懇親会が行われ、村山町長をはじめ湯山貸農園管理組合の皆さんなど約40名が参加しました。また来賓として高鳥代議士と村松県議も応援に駆けつけました。懇親会では、町に「絵画」の寄贈や管理組合の皆さんに感謝状が贈呈されるなど賑やかな楽しい交流が持たれました。翌23日には紅葉した山々をバスで廻り、秋の郷里を満喫していました。



災害だ！早期復旧いそげ

東北電力(株)配電技能訓練

10月19日から21日までの3日間、巴之下線で東北電力(株)による配電技術訓練が行われました。この訓練は毎年実施されており、今回は当町を会場に魚沼郡地域の3事業所31名の技術者が参加。訓練は雨中でしたが、電柱建て工事や変圧器工事など指揮官の指導のもと規律ある行動で訓練が行われていました。



第5回伝統民俗芸能発表大会

豪快な獅子舞を披露！

10月16日、中頸城郡頸城村の希望館で第5回伝統民俗芸能発表大会が行われ、当町からも中尾神楽が参加しました。この大会は、県教育委員会と頸城村が主催したもので中尾神楽をはじめ、6団体の伝統民俗芸能の発表が行われました。中尾神楽の豪快な獅子舞に観客から大きな拍手が送られていました。



手拍子、拍手に大感激！

「歌手」五郎正宗さん不老閣慰問
10月22日、特別養護老人ホーム「不老閣」にキングレコード所属歌手「五郎正宗」さんがお年寄りへの慰問に訪れました。

今回の不老閣の慰問は、五郎さんの知人が当町の上鰯池出身ということから実現したものです。

この日はデイサービスルームをステージに、いま売出し中の曲目「朝がこなけりやいいものを」や「雪国」などを熱唱しました。お年寄りの皆さんは、歌に合わせて不自由な手で手拍子や拍手を送っていました。五郎さんは、お年寄りのその様子に大感激でミニステージは最高潮でした。

松之山の 民 俗 ① 松之山に残る講

講は男性を主とする講と、女性を主とする講に区分することができ。

さらに、寺社に関する講や同職者による講など、それぞれ講仲間によって、その目的に沿って講が成立している。

講の形態は近隣で仲間をつくり、特定の日に集まって一夜を眠らずに過し翌朝の太陽を拝んで散会する日待講と、特定の月齢の日を定めて講員が寄り合っ

て飲食を共にしながら月の出を拝む月待講がある。

たが、庚申講・二十三夜講・二十六夜講・念仏講などは現在でも数集落で行われている。

◇庚申講

庚申信仰は中国の道教から発生したもので、日本では中世以降地域社会の氏神として広く信仰されるようになった。

中国の道教では、庚申の夜は三尸(上尸・中尸・下尸)の虫が寝ている人間の身体から脱け出て天に昇り、天帝にその人の罪を告げると信じられている。

このため、庚申の日には身を戒め夜眠らずに過ごさなければならぬと説いている。

日本に伝えられた当初は道教と同じ信仰形態だったが、庶民に受容されてくるとその性格は著しく変化した。

現在庚申(オカネサマ)の当たり日には、夜に講宿へ集まり風呂に入り、夕食をいただいたり、茶飲みをしながら夜を過ごし、庚申様の掛け軸を掛けて般若心経または真言を唱えている。

庚申塔は庚申の年ごとに建てられ、塔の下には酒壺や記念品などが埋められている。

◇二十三夜講

二十三夜講は三夜様といって盛んな信仰が行われ、町内各地

に二十三夜塔がある。

また、旧松之山村の全集落に二十三夜塔があり、二十六夜塔もあるのは松口だけである。

旧浦田村では二十三夜塔と二十六夜塔が同数であり、しかも二十六夜塔全部が山頂近くに祠られている。

二十三夜講は毎月二十三日に開催され、講仲間が順番で宿をつとめるのが普通であった。

この日は講員が宿に集まって月の出まで読経し、持ち寄った御馳走を食べながら二十三夜の月の出を拝して帰宅した。

なお、二十三夜講は「三」を「お座」にかけて女性の講中が多く、二十三夜待ちは女性のものとなるほどであった。

◇二十六夜講

二十六夜講とは、正月や七月二十六日の月の出を拝して精進供養をする信仰習俗である。

旧浦田村には五基の二十六夜塔があり、山頂近くの塔へは男性しか登れなかった。

中立山では毎年七月二十六日の夕方、若者が太鼓を持って山に登り、酒を飲みながら太鼓をたたき、月の出を待って拝んだという。

また、二十六夜の月は「弥陀

三尊が来迎する」と言い伝えられ、この神秘的な光景を目撃した田麦立の本山一夫氏は「美しい月が東の空に昇り、見る見るうちに大きくなって素晴らしい光景を見ることができた。この光景は、三休になった月の影はまさに神秘的で、こんなに美しく尊い月を見たことがない」と言っている。

◇念仏講

念仏講は南無阿弥陀仏を唱えて極楽往生を祈る講で、松之山では百万遍講と結びついている。百万遍講は南無阿弥陀仏を百

万回唱える念仏行事で、大勢の人が大きな数珠をみんなでたぐりながら、念仏を唱えて数珠をまわす。

この信仰が流行したのは近世中期以降で、疫病送りや虫送りの行事をはじめ、何かあると百万遍の数珠をたぐり、現世利益と供養の念仏を唱えた。

現在の念仏講は、葬儀が終わった後に御霊供養として行われている。

(文責 佐藤 仁)



現在も庚申祭を受け継いでいる大荒戸集落の皆さん。今年も8月13日に名木「夫婦杉」のそばの庚申塚の前でにぎやかに行われました。(写真は今年の庚申祭より)

楽しい愉快な

なかま ⑥

ゲートボール

松之山寿楽会

今月はゲートボールを愛し、楽しみそして、ゲートボールを通じて人生をリフレッシュしている皆さんに登場いただきました。皆さんの会を紹介ください。

私たちは松之山老人クラブ寿楽会の会員の中から、九十二歳の相沢茂平さん、八十九歳の伊藤与一さんを始めとし、現在十一



名のメンバーです。

町内の全老人クラブを対象に、公民館の指導により昭和五十九年に寿楽会として発足しました。

活動内容をお聞かせください。

ルールを身につけ、良好なチームプレーが出来るように毎週火曜、金曜の午後一時から四時間、町民グラウンドのコートを予約して練習しています。

町内大会や郡大会、上越大会

のほか県内各地からあの大会、この大会と付き合っている。金のかからない近頃の大会には出場しています。いままでは優勝を含めて入賞しないことはほとんどなかったのですが、最近では全体的にレベルが上がり惜敗を重ねることがあるようになり、真剣に練習しなければと思っています。

ゲートボールの魅力は、明るい太陽のもと、清らかな空気を吸いながら、作戦に頭を使うこと。そ

れから、高齢者にも無理のない運動で健康を維持し、打球をコントロールできる技術を体得しようとする向上心で、人生をリフレッシュ出来ること。また、町内外の人々と大会を通じて交流し、親睦を深めることが出来る点などです。

今後の目標は

頭脳と技術を必要とする奥の深いスポーツなので、その奥義を極めたチームを目標としています。

最後に町に望むことは

最近では各温泉地に、雨の日にもゲームが出来る室内コートが設置されるようになりました。松之山温泉にも一コート設置していただくよう行政に要望します。町内の高齢者は現役の農業者が多く、忙しい毎日です。しかし、町内の各コートではゲームを楽しむ人達の歓声で活気に満ちています。

余生を楽しむ一つの方法として、町民の皆さんからゲートボールを選んでいただくようにお勧めします。

④

シリーズ ほくほく線の旅

海と温泉、そして

白鳥の飛来する町（大潟町発）

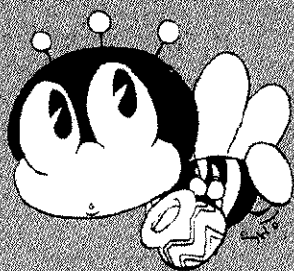
ほくほく線が、JR信越本線に乗り入れる終点犀潟駅。現在、大潟地内では、ほくほく線の高架橋工事が平成九年の

開業に向けて、急ピッチで行われています。『ほくほく線の旅』四回目は、海と温泉の街、大潟町を紹介しています。当町は、ほくほく線が走る沿線市町村で唯一日本海に面し、海水浴と温泉が同時に楽しめる町として知られています。夏には群馬県や長野県から大勢の人が、鶴の浜海水浴場に訪れます。また、鶴の浜温泉と海水浴場から、海岸に沿って美しい松の林が続く「夕日の森公園」があります。アウトドアライフが盛んな今日、公園内にあるキャンプ場でキャンプをしたり、サイードアスレチック、釣りなどをを楽しむ家族づれが各地から訪れ賑わっています。町では今、野鳥や白鳥が飛来



大潟町役場企画課

松之山町生涯学習だより



ユ-マイ-ハート ゆめひとこころ

No.6 公民館 ☎6-2265 担当 武田

事業案内

11/11
12/11

歴史教室

郷土の歴史を訪ねる歴史教室の最終回です。テーマは、「ふるさとの明治初期」

▼期日 11月15日(火)

▼時間 午後8時～10時

▼会場 自然休養村センター

第7回東頸城地区親善ソフトバレーボール大会

東頸城郡内の町村に居住する婦人のソフトバレーボール大会です。楽しく、さわやかにプレーしてみませんか。

▼期日 11月23日(水) 勤労感謝の日

▼時間 9時～14時

▼会場 松代町総合体育館

▼資格 郡内町村に居住する30歳以上の婦人

▼申込 11月16日までに、松代町総合体育館へ(申込書は松之山公民館にあります)

▼申込

11月16日までに、松代町総合体育館へ(申込書は松之山公民館にあります)



郡囲碁大会

郡内の囲碁愛好者のみなさん、うでだめしをしてみませんか。

▼期日 11月20日(日)

▼時間 8時30分～16時

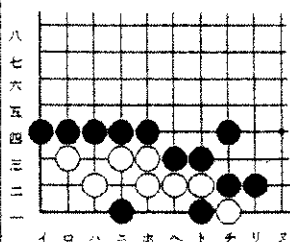
▼会場 安塚町民会館

▼競技方法 ブロック別リーグ戦

▼表彰 各ブロック3位まで

▼参加料 150円(昼食・飲物付)

▼申込 11月15日までに、松之山公民館へ



ハセ六五四三二一
イロハニホヘトチリマ

民俗資料館閉館

みなさんからご利用いただいている松之山町民俗資料館ですが、11月24日(木)をもって、冬期閉館させていただきます。ご利用ありがとうございました。

生花教室

郡美術館で、山野草のすばらしい生花で会場を彩っていたいた柳則子さんの今年最後の教室です。

▼期日 12月6日(火)

▼時間 午後8時～10時

▼会場 自然休養村センター



第16回郡6人制バレーボール選手権大会

東頸城郡の男子バレーボールの愛好者が一同に会し、郡のナンバーワンを目指した熱戦をくりひろげます。

▼期日 12月11日(日)

▼時間 8時～17時

▼会場 松之山町民体育館他

▼種目 男子6人制バレーボール

▼資格 東頸城郡内の高校生以上のバレーボール愛好者

▼表彰 優勝・準優勝・3位(各チーム2名を含む)で編成

▼参加料 1チーム300円

▼申込 11月28日(月)までに、松之山公民館まで

親子映画祭り

公民館大会議室

晩秋の夜長を親子で映画に親しんでみませんか。

◇11月19日(土) 午後7:00～

二十四の瞳

田中裕子主演、壺井栄原作

瀬戸内海の美しい自然を背景に一人の女教師と12人の教え子たちの交流を描きます。

◇12月3日(土) 午後7:00～

釣りキチ三平

銀河鉄道999

友だちの心の痛み

◇12月17日(土) 午後7:00～

鉄腕アトム

みつばちマーヤの冒険

気づいたときが変えるとき



スポーツ活動

近年、生活水準の向上、自由時間の増大などに伴い、人々のスポーツ活動に対するニーズが高まっています。

このような中で、人々が生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送るために、あらゆる機会と場所においてスポーツを楽しむことができるような諸条件の整備を図ることが重要となってきました。

平成4年の県の生涯学習に関する意識調査によれば、今後、充実を希望する施設として「スポーツ施設」をあげた人が最も多く、生涯スポーツへの関心の高さがうかがえます。

これらのことを踏まえ、教育委員会では、生涯にわたる各種スポーツ活動の充実やスポーツ推進体制の整備により、生涯スポーツの推進を図るよう努力してまいります。



生涯学習に関わる意識調査

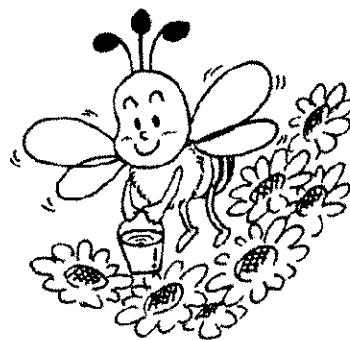
ご協力ありがとうございました

皆様のご協力をいただきまして、生涯学習に関わる住民意識調査を実施させていただきました。

おかげさまをもちまして、3006名の調査対象者のうち、有効回答を2055名の方からいただきました。有効回答回収率は、68.4%でした。

皆様からいただきましたご意見を、有意義に活用させていただくべく、現在、集計作業を進めています。集計がまとまりましたら、広報で紹介させていただきます。

皆様のご協力で心より御礼申し上げます。



新刊図書紹介

機長のかばん	石崎秀夫
萩・津和野に消えた女	西村京太郎
はたらく青年	原田宗典
エディソン郡のドブ	R・R・ロバーツ
女の贅沢	津村節子
Swing鳥たちのささやき	吉沢隆司
平成版 家なき子 上・下	野島伸司
ハマコーの証人諷聞	浜田幸一
ドルードル	ロジャー・プライス
お役所の掟	宮本政於
森の朝が好き	俵 萌子
がんを生きる	竹内一郎
がんは癒される	バリー・ブライアント
小説 河井継之助	童門冬二
アイ・ラブ安吾	萩野アンナ
リング	司 修
14ひきのこもりうた	いわむらかずお
ぶた たこ とんだ	つるみまさお
DINOPIX	田島照久

施設紹介

松之山町民俗資料館

毎日開館

午前九時～午後五時
但し十二時～一時昼休

〔開館時間〕

・黒倉十文字遺跡出土品

・麻布・いざり機

・松之山にのこる高札

・雪国の生活民具

〔展示内容〕

と松之山を見つめなおしてみませんか。

民俗資料館で、ふるさと松之山を学べます。

機織り産業も学べます。

等も陳列され、伝統的な

はじめ、麻布・いざり機

ら用いられてきた農具を

民俗資料館です。古くか

を一堂に集めているのが

雪国の風俗・生活・歴史を知る上で貴重な資料

〔入館料〕

十二月～三月の冬期間

〔休館日〕



〔問い合わせ〕
松之山町公民館

(6-2265)

〔問い合せ〕

松之山町湯山

(6-2041)

〔所在地〕

松之山町湯山

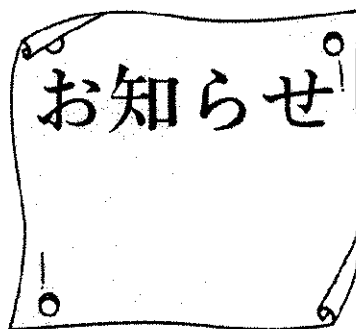
〔入館料〕

大人200円 小人100円

十二月～三月の冬期間

〔休館日〕

十二月～三月の冬期間



補聴器相談会を開設します

開設します

住民課福祉係

耳の聞こえが悪い人、補聴器の調子が悪い人、お気軽にご相談ください。

▽日時 11月16日(水)

午前11時～12時まで

▽会場 松之山町役場会議室

▽問い合わせ先

役場住民課福祉係

☎ 6-3131 内線56

県民健康調査にご協力ください

県民健康調査に

県環境保健部

県では、11月16日現在で県内の1万世帯を対象に県民健康調査を行います。この調査は、県民の健康状態や健康に対する意

識などについて調査するものです。

11月上旬から、調査員がお訪ねしますので、ご協力をお願いします。

▽問い合わせ

上越保健所

☎ 0255-23-1315

または県環境保健部総務課へ

☎ 025-285-5511

農業改良普及センターに変わります

農業改良普及センター

県では法律の一部改正に伴い

「農業改良普及所」の名称を「農業改良普及センター」に十一月一日から変更しました。

これまでどおり農業技術や経営に関する相談をお待ちしています。

東頸城農業改良普及センター

☎ 2-33622

作業停電のお知らせ

お知らせ

東北電力株

▽日時 11月17日(木)

午前9時30分から

午前11時30分まで

▽区域 坂中、月池の全部

▽問い合わせ

東北電力(株)十日町営業所

ボランティアを募集しています

町社会福祉協議会

「不老園」では、施設のお年寄りの付き添いをしていただけるボランティアを募集しています。活動内容は、お年寄りの話し相手や散歩の時の付き添いなどで、とくに技術などは必要なく、男女、年齢は問いません。自分の空いた時間に参加できますので、気軽にお申し込みください。

▽申し込み・問い合わせ

松之山町社会福祉協議会まで

☎ 6-3131 内線53

ご寄贈感謝します

松之山駐在所富所さんご紹介で、新潟市の小木義興様から

体の不自由な方が自宅でお使いいただく「介護機器」をご寄贈

いただきました。この機器は、

町内のご家庭で必要とされている方に無料で貸し出しますので、ご利用ください。

【寄贈品名】

電動ギヤジベツド 1、

マットレス 2、

車椅子 1、歩行器 1

スポーツ・結果

男女、そろって県大会出場へ！

上越地区中学校駅伝大会

10月19日、上越地区中学駅伝大会が行われました。男女とも優秀な成績を収め、11月19日に新潟市で開催される県大会に出場します。

【成績】女子Aチーム＝6位入賞（2年連続）、男子Aチーム＝7位

町長杯バレーボール大会

成績は、次のとおりです。

【男子】優勝・松之山高校、2位・ピテカン（松代町）、3位・昇勢会A、【女子】優勝・松之山高校、2位・松之山、3位・松里

自然が大好き⑤

エナガ（エナガ科）

“エナガ”の子供達

9月の中旬わが家の川岸に、毎日のようにエナガとメジロの群れが、シシウドの実を食べにやってきた。野鳥の雛達はこれからの越冬と渡りに備え体力をつけておく必要がある。巣立ちを終えた雛達は、群れをなして体力増強と危機管理を身につけ初冬までを過ごす。わが家のエナガやメジロもシジュウカラやヒヨドリと混群の事もあった。混群により天敵から身を守るのであらうか。いずれにしても餌を食べているときは無警戒で観察し易い。冬の間、玉椿やウメモドキの赤い実を食べているヒヨドリやジョウビタキを、窓越しに見ているのも楽しい。

松之山町野鳥愛護会長 村山健



アイ・ラブ・ゆうちゃん



東京事務所だより

物産展で大好評

十月は東京で、松之山の物産展を開催するイベントが相次いでありました。

八日から十日までの三日間、新潟県主催の「新潟の祭典HOT・WAVE、NIGATA 94」が代々木公園でありました。(有)ドリーム・ファクトリーの「あんば」などが出展され人気を集めていました。期間中、東京松之山会の皆さんが応援に駆けつけてくださり、おおいに松之山を売り込んでいただきました。

次いで二十二日と二十三日の二日間、葛飾区の「産業フェア」が開催され、友好都市松之山町の方々が集まりました。



として参加させていただきました。役場産業課とJAしづみの共同で物産を出展しましたが、中でも野菜類に人気が集中したようです。

葛飾区産業フェアではたくさんの方々が集まりました。



また、時を同じくして代々木公園で「全国まちとむらの交流大会」があり、山村留学の(財)育てる会のご配慮により、教育委員会、(有)ドリーム・ファクトリー共同で出展しました。今回は浦田地区の里親の皆さんも参加され、二十二日夜には山留生OB、父兄の皆さんとの交流会が盛大に催されました。

まつのやま文芸

俳句

十三夜

燈を消して隣家寝落ちし十三夜

月光や花の盛りの蕎麦畑

新米を掲げば水晶の光りかな

貴空に翅の透けたる赤蜻蛉

葉買ひに先る新葉の山一つ

小谷 鈴木 俊一(榮屋)

外国花嫁さんご両親の渡航費を補助します

町では、10月1日から外国花嫁さんのご両親などの渡航費の一部を補助することになりました。この補助事業の内容は、次のとおりです。

(目的)

外国花嫁さんのご両親などが訪日し、来町することで異なる文化、習慣の融和を促進するとともに、国際親善に寄与することを目的としています。

(補助対象経費)

○外国の主たる空港から国内到着空港までの往復航空運賃の実額とします。

◇補助率は、実額の50%です。
(日本で定められている往復料金とします)

(補助金申請)

○両親などが訪日し、松之山町に滞在してから10日以内に申請してください。

◇補助金申請人は、婚姻当事者が行ってください。

◇補助金の交付は1年に1人分とします。

(問い合わせ)

渡航費補助の申請及び詳しい内容については、役場住民課福祉係窓口まで。

温泉定休日			
温泉センター 翠の湯			
11月	10	15	
	24	30	
12月	8	22	冬期はみ
			休

戸籍の窓

おめでた(出生)

(生年月日)

大倫ちゃん 志賀幸夫・千恵子さんの長男
松之山(志賀屋) 6・9・30
穂季ちゃん 村山祐樹・一子さんの長男
松之山(森下) 6・10・6
郁弥ちゃん 高橋 誠・益美さんの二男
天水島(治左エ門) 6・10・17
大貴ちゃん 久保田雅夫・久美子さんの長男
曾根(曾七) 6・10・19

おくやみ(死亡)

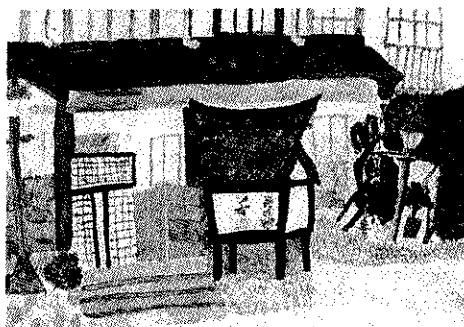
(死亡年月日)

田辺ルエさん 79歳
松之山(田丸屋) 6・10・9
高橋ミツさん 77歳
天水島(新兵衛) 6・10・17

※10月1日から31日までの届出分です。

※広報に載せてほしくない方は、届出のときに窓口にお話してください。

ぼくの絵 わたしの絵 東川小学校



松之山温泉のちとせかん

げんかんのかわらの色を1まい1まいぬるところがたいへんでした。



6 年

小野塚大輔くん
(東川 上)



松之山の温泉街

下っていく道をぬるのがたいへんでした。



6 年

高橋真弥さん
(中尾 喜ぜん)

こよみ



10月のできごと	2日	3日	10日	14日	17日	19日	23日	28日	29日	30日	31日	11月11日	12月10日	15日	19日	20日	23日	5日
	きのこ狩り	民生委員会	きのこ狩り	健康マラソン	総合計画審議会	献血(松之山町役場)	親子自然体験教室	上川村議会視察	町美術展(31日まで)	町農業祭	小・中芸能交歓会	親子映画の夕べ	農地相談会(松里・布川)	農地相談会(松里・布川)	県中学校駅伝大会(新潟市)	山村留学松之山学園取履祭(旧浦田中学校)	郡婦人ソフトバレーボール大会(松代町)	成分献血
		農業委員会総会		郡美術展 町民体育館(16日まで)	乳幼児歯科検診	町づくり検討委員会												農地相談会(浦田)

今月号の表紙

今月は、特別養護老人ホーム「不老園」の厨房にお邪魔しました。厨房で働く皆さんの他に、事務職員や介護者、看護婦さんなど大勢の方々が働いています。施設の年間事業には運動会や芸能祭があり、職員は毎回趣向を凝らしたすばらしい演芸を披露しています。町民の皆さんもボランティアで参加してみませんか。

編集後記

四月から広報を担当して七ヶ月が経過しました。私が担当した広報紙も今月号で第七号の発行となります。当初の目標だった、六ヶ月発行も無事にクリアでき、いまホッとしています。でも、毎月月末になると眠れない夜と胃痛の日々が続きます。しかし、悪いことばかりではありません。取材先でいろいろの方との出合があります。毎回皆さんには、心よく取材に応じていただき感謝しています。さあ、十二月号の取材を始めよう。

町の動き

11月1日現在
総人口 3,596人(+2)
男 1,744人(+5)
女 1,852人(-3)
世帯数 1,166戸(0)
()内は前月との比較